

令和3年度 事業報告書
 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで
 特定非営利活動法人工房・虹と夢

1 事業の成果

2021年度は、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、20年度に引き続いて製品の販売機会がほぼないという厳しい状況下での活動となりました。新型コロナウイルスの感染拡大は北海道全域に及び、全国でも「まん延防止」措置が出されるなど感染の拡大が続いてきました。このコロナ禍によって活動の自粛や休業を余儀なくされた企業や団体も多く、市民生活は大きな影響を受けてきました。虹と夢も丸2年以上も販売の機会や場所がなくなる厳しい状況が続いています。地域との繋がりを大切にしながら活動してきた工房・虹と夢ですが、感染力の強い新型コロナウイルス対策に当たっては、何よりも利用者の安心・安全を第一に工房運営にあたってきました。出勤する前の体温測定、工房内ではマスクの着用や消毒の徹底、換気対策など、利用者・保護者の協力をいただきながら感染予防のための対策に万全を期してきました。本年に入ってから、函館市内における感染拡大が続き、感染予防の見地からやむを得ず「まん延防止」措置のあいだ時間短縮の措置を実施(1月28日～3月21日)せざるを得ませんでした。

*障がい者の自立支援に関する事業

工房・虹と夢は、ひとり一人に対する支援計画と、それに基づいた日常の作業指導・内容を現実にあつた形で組み立ててきました。また、利用者それぞれの障がい特性に応じた選択肢や可能性を広げる取り組みを通じ、工房の一員であるとの自覚を共有できるよう努力してきました。

イ) 就労継続支援事業《工房・虹と夢》

① 自主製品の製造・販売

コロナ禍の影響で、イベントへの参加を控えることが続きました。また、どんぐり2やCogなどの授産製品を扱う事業 所も利用者の減少などで大きな影響を受けることとなりました。(Cogは1月30日で閉店)

② 受注作業

地域のネットワークを通じて複数の企業からの作業受注や、新たな製品の共同開発などにも取り組み一定の成果を上げることが出来ました。また、ものづくりにこだわる本州の会社からの定期的な注文も受けることができました。

③ 販売体験などを通じたコミュニケーション能力の獲得

利用者が直接参加する大切な機会と位置づけている各種販売会は一部を除き中止となり、ほとんど実施することが出来ませんでした。

④ 地域との協力、ネットワークづくり

虹と夢の活動を地域に広げる一環として、地域の様々な人々、団体と協力しながらつくりあげてきた〈めぐる市〉や〈パン&スイーツまつり〉〈おてらんど〉など、各種の催しは本年もコロナ禍のために参加することができませんでした。また、毎年7月に開催してきた虹と夢まつり、秋の李政美コンサートも開催するこ

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
障害者の自立支援に関する事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス 就労継続支援B型を行った	通年	函館市 工房・虹と夢	6名	実利用者 26名	31,808 千円
研修・啓発に関する事業	①養護学校や地域の相談支援センターなどからの実修生・見学者、就労体験者の受け入れ ②会報などを通じた広報活動『虹メール』年2回発行	①通年 ②9月3月	函館市 工房・虹と夢	6名	①各学校・センター利用者約10名 ②後援会員約200名	162千円

(2) その他の事業

実施しなかった